



発行所 社団法人 神奈川県造園業協会 横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階 〒231-0014 電話 (045) 662-8793 662-1767 FAX (045) 662-4381 年間購読料 3,150円 (郵送料を含む) ただし会員の購読料は会費に含まれています。



http://www.kanagawazoen.or.jp

年頭のあいさつ

(社)神奈川県造園業協会会長 岸本和好



在もお三十万人を超える被災者の方々が、住み慣れた土地を離れ、全国各地で避難生活を余儀なくされております。

一日も早く元通りの生活に戻れるようお願いしつつ、より積極的、効果的な復興支援への取り組みを、政府には期待したいところであります。

政治の混乱・景気の低迷と日本全体が出口の見えない閉塞感が漂う中で、昨年のロンドンオリンピックにおいて過去最多のメダルを獲得した日本選手団の活躍や、山中伸弥教授のノーベル賞受賞、国際宇宙ステーションで日本人最長時間の船外活動を行った星出彰彦宇宙飛行士など、世界を舞台に活躍する日本人の姿には、勇気づけられた方も多かったのではないのでしょうか。その中で星出氏は「この美しい惑星に生まれてよかった」と感想を述べておられました。

未来の人々が皆そう言えるように、美しい地球を守つていかなければなりません。

地球環境を守る為に最も重要な緑に携わる私共の役割は、



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな希望と抱負を胸に新年を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。 昨年は、震災からの復興と原発事故の収束という大きな課題を背負つてのスタートとなりましたが、現

今後ますます大きなものとなって参ります。

本年、当協会は公益法人制度改革に伴い、一般社団法人神奈川県造園業協会として、新たにスタートいたします。

民による公益の増進に寄与する担い手として、関係官庁とのより一層の協力関係を築き、「かながわのみどりを創り、育てる」スローガンのもと、二十一世紀におけるみどり豊かな人に優しい社会環境づくり、地域づくりに貢献して参る所存であります。

私共造園業は、日本の伝統文化の一つである日本庭園の技術・技法を学び、後世に伝えていく使命がある一方、都市緑化・震災等を教訓として防災対策や緑豊かな都市環境の整備等緑化の推進に積極的に参画し、災害時における支援、各土木事務所と災害協定の締結、災害への対応のための防災公園の設置等緑地の保全と緑化の推進に努力してまいります。

また校庭の芝生化及び管理については、みどり議員連盟との勉強会や校庭芝生化プロジェクトチームの積極的な活動により校庭芝生化の事業促進と普及を期待している所です。

これからも困難を乗り越えていくためには、これまで以上に改善と合理化を図るとともに、部会・委員会が研鑽を重ね新分野の開拓と技術の向上を図っていくことが重要であります。 様々な課題に取り組み協会・業界発展のため今後とも努力して参りたいと存じます。 どうぞ皆様の一層のお力添えと関係各位のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



「いのち輝く マグネット神奈川」の実現に向けて

神奈川県知事 黒岩祐治

新しい年が皆様にとって幸多きものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。皆様には、それぞれ新たな抱負や願いを胸に新春をお迎えになったことと存じます。私も、県政運営

に全力を挙げていく決意を新たにしております。 昨年は、私が掲げた「いのち輝くマグネット神奈川」の実現のために、総合計画「かながわブランドデザイン」をお示しし、その実現に向け、総力を挙げて取り組んでまいりました。「ビッグレスキューかながわ」「医療のブランドデザイン」など、全国の先駆けとなる新たな政策「神奈川モデル」にも圧倒的なスピード感を持って取り組んでまいりました。今年もこうした取り組みを積極的に展開してまいります。

特に今年は、「健康寿命」を延ばす取り組みを積極的に進めてまいります。県では、高齢化が全国平均を上回るスピードで進むと予想されています。そこで、ここ神奈川で、この問題を解決するモデルをつくりたいと考えています。みんなが長生きしてよかつたと思える明るい神奈川を実現するには「健康寿命」を延ばすことが重要です。そして、その鍵を握るのは「食」です。私がかねてから「医食同源」に、食材を育てる「農」を取り込んだ「医食農同源」という健康観を提唱してまいりました。地産地消をはじめ食材の効能を生かす食のあり方など、病気になるない体をつくる取り組みを進めてまいります。

また、「京浜臨海部ライフイノベーション」国際戦略総合特区において、グローバル企業による革新的な医薬品や医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出を図り、国際競争力の向上に取り組んでまいります。

併せて、さがみ縦貫道路沿線地域等において、福祉・防災などさまざまな生活支援ロボットの実用化を促進し、関連産業の一大集積地形成を目指してまいります。さがみ縦貫道路等の自動車専用道路が着実に開通でき

平成25年(2013年) 神奈川県造園人 賀詞交換会開催のご案内

恒例の神奈川県造園人賀詞交換会は、下記のとおり予定しております。

記

1 日時 平成25年1月15日(火) 午後6時

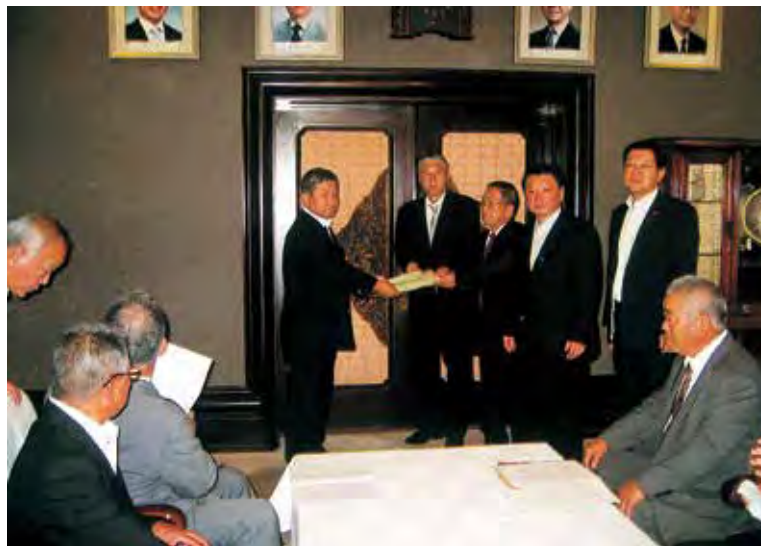
1 場所 ロイヤルホールヨコハマ

1 会費 男性6,000円 女性3,000円 TEL 045-641-1122

- 謹賀新年
- 平成25年(2013年)
- 社団法人 神奈川県造園業協会役員一同
- 田澤 幸作 相談役
 - 下田 勇 相談役
 - 鈴木 一松 相談役
 - 岸本 和好 会長
 - 渡邊 宣昭 副会長
 - 高橋 克明 副会長
 - 小山 俊一 副会長
 - 石川 龍二 副会長
 - 瀧川 隆雄 理事
 - 川原 正行 理事
 - 今西 稔 理事
 - 倉本 澄夫 理事
 - 今泉 健寿 理事
 - 小川 名真 理事
 - 田野 井茂 理事
 - 高橋 更一 理事
 - 生駒 隆一 理事
 - 長谷川 寿雄 理事
 - 大胡 周一郎 理事
 - 細野 仁 理事
 - 笠原 三貴也 理事
 - 目代 久典 理事
 - 古川 香 理事
 - 木村 義広 理事
 - 原 茂弘 理事
 - 富田 改 理事
 - 甘利 憲一 理事
 - 足立 原哲男 理事
 - 松井 徹 専務理事
 - 川田 秀一 監事
 - 新倉 治 監事

「みどり行政に関する要望書」

神奈川県及び出先機関へ提出



古尾谷副知事に要望

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、十月五日に古尾谷副知事並びに県土整備局長・環境農政局長を始めとする幹部職員に対し、平成二十五年度に向け、七項目について要望した。

①景気・環境対策として、また、計画的な社会資本の整備保全や災害への対応のためにも防災公園の設置等緑化関連公共事業予算の確保・増加と受注機会の確保について

②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進について

③三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進について

④公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設などのうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し特定建設業種である造園専門業者に発注を、また、発注にあたっては公共工事の品質確保を図るため、工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価の考慮について

⑤一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路

樹剪定士を下請けではなく、元請けの条件として仕様の明記について

⑥校庭及び園庭の芝生化の推進を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園工事専門業者への発注をお願いしたい。

公園整備については、防災やユニバーサルデザイン、安心安全、環境に配慮した公園の再整備を進めていく。工事の内容等考慮して可能な場合には分離発注に努める。総合評価方式では、「企業の技術的能力」や「配置予定技術者の技術的能力」を評価している。街路樹剪定士を元請の条件にすることに、今後の動向を見ながら検討していく。不良不適格業者の排除については、建設業許可審査で営業所の写真や建物所有や賃借を証明する書類の提出を求めるなど審査を厳格に行いますとの回答がなされ、災害協定については知事と締結しているが、各土木事務所と締結できていないので支援尽力をお願いした。



県土整備局長に要望

た。

ヒアリングの中で、県では校庭の芝生化について、養護学校二十六校の内十二校について芝生化を図り、県立高校についても計画推進課で平成二十一年度からグラウンドや中庭等の芝生化の施行を実施しており、横浜国際高等学校等校庭全面芝生にも取組みを始めている。森林整備基本研修に造園の方も多数参加されており、引き続き森林整備にご尽力をお願いしたい。

これを踏まえて十月二十三日・二十四日の二日間、二十一年箇所に要望を行った。

にわたり横浜川崎治水事務所・各土木事務所等県土整備局十二箇所、自然環境保全センター・湘南地域県政総合センター等八箇所、企業庁水道局寒川浄水場等

刈払機取扱安全衛生教育講習会を開催

昨今作業における安全確保が強く求められる中、事故や災害を未然に防止する

ため、刈払機の適切な取扱等の安全衛生教育講習会を実施しました。



座学



実技作業

当日は、朝九時から午後四時まで関係法令や刈払機の構造・機能・取扱説明・振動障害予防・点検整備等の座学と実技作業を行いました。

日時 平成二十三年九月二十日

会場 日産スタジアム内横浜市スポーツ医科学センター

参加者 六九名



環境農政局長に要望

注について

⑦不正行為の防止と不良不適格業者を排除するため業務実態調査の強化と調査結果の入札制度への反映について

前記七項目を造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れ

お願ひしたい。

公園整備については、防災やユニバーサルデザイン、安心安全、環境に配慮した公園の再整備を進めていく。工事の内容等考慮して可能な場合には分離発注に努める。総合評価方式では、「企業の技術的能力」や「配置予定技術者の技術的能力」を評価している。街路樹剪定士を元請の条件にすることに、今後の動向を見ながら検討していく。不良不適格業者の排除については、建設業許可審査で営業所の写真や建物所有や賃借を証明する書類の提出を求めるなど審査を厳格に行いますとの回答がなされ、災害協定については知事と締結しているが、各土木事務所と締結できていないので支援尽力をお願いした。

第三十三回「よこはま技能まつり」が十月十四日(日)に横浜公園で開催され、神造協をはじめ三十団体の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の称讃を受けていました。

展示・実演として、①造園・園芸相談②横浜マイスター・会員による作品ミニチュア・庭園写真③一・二



四つ目垣繩の結び方指導

第三十三回「よこはま技能まつり」が十月十四日(日)に横浜公園で開催され、神造協をはじめ三十団体の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の称讃を受けていました。

展示・実演として、①造園・園芸相談②横浜マイスター・会員による作品ミニチュア・庭園写真③一・二

級技能検定モデル写真や技能検定講習会・実技試験風景写真展示④竹の花器展示及び作成・花のタネ無料配布⑤四つ目垣根の結び方実演を行いました。

四つ目垣の繩の結び方実演には多くの方が関心を示し、関係者の指導を受けながら和気あいあいと取り組んでいました。

技能まつり等の一つの取組みが伝統的技術の承継と拡がりにつながらばと思います。

災害時における事業 継続計画 (BCP) 作成講習会開催



発動例：(株)丸本組

テーマ

「BCP作成のポイント」

- ・重要業務を中断させない、中断しても早急に再開させる事前計画の策定
- ・事業継続計画の検討・作成手順等の説明の後参加者全員でBCP作成演習を行い大変有意義な講習会でした。

参加者 二十五名

テーマ

「神奈川県BCP支援について」

- ・地震でサプライチェーンが切断された事例
- ・事業継続計画とは
- ・防災計画と事業継続計画の違い
- ・BCPは経営資源が蒙つたダメージで考える
- ・災害に対しては、災害別に対策を講じる
- ・神奈川県が想定する地震と津波
- ・どんな事業継続計画を作成したらよいか
- ・造園会社の事業継続計画
- ・緊急対応・事業継続の全体手順
- ・東日本大震災でのBCP

テーマ

「想定される緊急事態とBCPの必要性」

- ・質疑応答でBCPを作成した場合、制度として評価されるのかについて質疑があり、現在評価制度はないが県のホームページに登録され公表されるので企業の社会的地位や信頼が高まるメリットはあるとのことでした。

樹木取引・流通市場視察研修会開催

十一月七日に樹木・資材委員会にて千葉県の樹木生産事業所と植木取引市場の視察研修が実施され参加者は六名でした。最初の視察箇所は千葉県匝瑳市東小笹所在の観樹園緑化を訪れました。ここでは地植ではなくポットによる植木生産が主流で多種類の生産を行っております。



ポットによる植木生産



マキの仮置き



セリ荷



セリ状況

取引市場を訪れました。荷も多く種類も豊富で活況があり、三重県等県外からも持ち込みされておりました。次に、株式会社東金植物取引価格は非常に低廉で視察研修者から生産者泣かせたとの声も聞かれました。

次に、農業組合法人成田ナーセリーを訪れました。昨今ソーラーパネルの普及により屋上緑化が減少している中、壁面を短期間で緑化する多種類の長尺つる植物の生産に取組んでいるお話を伺い有意義な研修となりました。

第十二回 親睦ゴルフ 県大会の開催



会長挨拶

協会の数少ない親睦会として第十二回目を迎えた今年度は多くのみどり議員連盟の方々が参加の予定でしたが、衆議院の解散により

年のゴルフ大会は、十一月二十日参加者六十六名で、清川カントリークラブにて行われました。当日は穏やかな、雲一つない秋晴れの中気持ちよくプレーを楽しんでいました。距離は短いグリーンが速くパットに苦しんでおりスコアは全体的に厳しいものがありました。

優勝は嶋村ただし氏(みどり議員連盟幹事長・準優勝は曾根忠和氏(県支部)・第三位は川原正行氏(港北支部)が入賞し、栄えあるベストグロス賞はグロス七十二で、曾根忠和氏が準優勝とダブル受賞となりました。

今年度は多くのみどり議員連盟の方々が参加の予定でしたが、衆議院の解散により

細野さんにお願した沢山の花鉢の香りがパーティー会場を埋め尽くし、また、今回も豪華賞品が多数授与され、華やかな秋の一日となりました。

どうぞまた腕を磨いて来年に挑戦して頂きたいとおもいます。幹事の皆様有難うございました。



かながわみどり議員連盟 嶋村幹事長優勝

国際園芸博覧会フロリアード・オランダ・ベルギーを巡る 第6回海外研修会に参加して

(株)東開造園土木 岡部 一郎

「第6回神奈川県議会議員松田よしあき先生と行く海外研修会」は8月24日(金)から30日(木)までの日程で神奈川県造園業協会と先生の後援会の方々、総勢12名で10年に一度オランダ(今回はフェンロー市)で開催される世界最大の国際園芸博覧会フロリアード

2012を視察し、オランダ・ベルギー各地を巡るものでした。出発の前週末までオランダでは記録的な猛暑で、旅行中も暑さを覚悟していましたが出発の数日前には平年並みの気温になったとの情報が入り、ヨーロッパではもう涼しくなる時期だろう

など思っていました。出発当日、成田空港に集合しチェックインカウンターへ向かうと今まで体験したことがない程の混雑ぶりです。聞けば前日の最終便が機体トラブルで欠航となりその便の乗客もいたことで混雑しているとのこと。結局

2時間近く並んで出発も1時間半遅れました。フライトでも遅れは取り戻せずスキポール空港に1時間20分遅れで到着、バスに乗り込みロッテルダムへ移動しました。ホテルに到着後、夕食まで市内を各々散策。パークスゾーンで町には人が溢れていました。ホテルでの最初の食事で自己紹介などをして長い1日目は終了。

博覧会終了後は会場エリアに企業などを誘致する予定だそうですが、時はEU不況、誘致が進まない場合半分は公園として残すことも検討しているようでした。

再び夜のグランプラスへ向かい美しい照明に浮かび上がったグランプラスの広場はとてにぎやかでした。ここでも少し寒い中、ビールを堪能しホテルへ戻りました。



フロリアード駐在事務所長と意見交換の後記念写真

2日目、若干雨模様で涼しい中、バスでフェンローに向かいます。フロリアード会場に到着。日本人の若手スタッフが会場を案内してくださいました。とても大規模な会場でロープウェイも通っていました。

フロリアード2012では「アップサイクル」が一つのキーワードとなっておりスタッフが一人が話していました。再利用し、より良い物にしていくことだそうです。

「国際園芸博覧会」ということで草花中心のイメージがありました。思った以上に樹木も多く利用していました。各ブースを回りましたが、日本国政府出展ブースはなかなかの人気で絶えず多くの見学者がいました。



フロリアード会場入口



フロリアード会場風景



フロリアード会場風景



3 日目、朝から雨模様、気温も低く寒いくらいでした。歩いて「小便少女」、小便小僧”を見て戻ろうとした時に雨が強くなり雨宿り、10 時 30 分に GODIVA 本店前に集合で自由行動となったので隣のカフェでホットチョコレートを飲んで温まりました。

その後アントワープへ移動。大雨が降り出しましたがレストランに到着後だったので濡れずに済みラッキーでした。地ビールと旬のムール貝をいただき、メインは牛肉の煮込み。ムール貝は絶品でした。

4 日目、ブルージュ市庁舎を見学後、街を散策して見ると聖母教会でミケランジェロの「聖母子像」に出会うことができました。キヤナルクルーズで運河から街を見学し昼食はチコリのグラタン、おいしかったです。その後キンデルダイク（世界遺産）へ移動、19 の風車を確認後アムステルダムのホテルへ移動。

5 日目、ユトレヒトのミッフィの作者ディック・ブルーナ・ハウスを見学後、デハール城・ハールズレイクスで昼食。アムステルダムに戻り、飾り窓などを見学後、夕食をとり 5 日目終了。

6 日目、アムステルダム国立美術館を見学。フェルメールの何点かはちょうど日本に行っていて見ることができず残念でしたが、他のフェルメールやレンブラントの作品を間近で見ることができ、写真撮影も OK で感激しました。その後市内を観光しながら昼食を取りスキポール空港から帰国の途に着きました。



日本庭園



ベルギー・ブルージュ ノートルダム教会 ミケランジェロ「聖母像」



ベルギー・ブリュッセル グランプラス



ベルギー・ブリュッセル 小便小僧



ヨハネス・フェルメール「牛乳を注ぐ女」アムステルダム国立美術館



ベルギー・アントワープ ノートルダム大聖堂のルーベンス祭壇絵



オランダ・エルハウトの風車群

くすのき保育園園庭芝生化プロジェクトを終えて

株式会社 きたむら園 北村 善輝

今回、公園緑地部会 校庭芝生化プロジェクトチームのメンバーをはじめ多くの方のご協力をいただき、くすのき保育園園庭芝生化工事を現場中心の立場で施工出来たことをはじめにお礼申し上げます。

5月28日に保育園の先生、園児、保護者の方々と共にポット苗の作成を始めました。ポット苗を作る時に園児にどのようにして教えるかが最初の問題でした。培養土をポットに入れ芝苗を入れる、我々造園に携わる者なら当たり前に思える事を小さな園児に伝える事が出来るか不安でした。実際作業を始めると不安は一瞬でなくなりました。園児が泥んこ遊びの感覚で楽しそうに遊んでいるのを見て、一人ひとりの予定の分を終えてもどんだら次のポット苗を作る姿がとても印象的でした。園児に1鉢ずつ家に持ち帰ってもらい、苗の植付けまでの間苗を育ててもらおう事にしました。

現場の土壤改良を行うに当たっては、掘削に際し土壌が固い、不要なガラ的大量発生、既存のレベルの調整等がなかなか思うように作業が進みませんでした。予定の工期に間に合わず、園長先生にお願いしたこともありました。芝生を植栽する下準備が完成し、7月24日に園児たちが《芝生の赤ちゃん》と呼んで大事に育ててくれた苗も含め、約3千ポットの苗を園児と共に植付け、また、撒き芝、筋芝の2パターンをプロジェクトチームにおいて試験的に施工しました。

当日は、松田良昭県議もこの作業に参加して頂き、また視察されるとともに、色々とプロジェクトメンバーに質問され、園庭・校庭芝生化の関心の高さが私たちメンバーにも伝わってきました。

後は開園までの養生期間でしたが、生育はどうなのか何度が足を運んでいきましました。チームのメンバーが確認していただいた事、同じ認識でいたことが改めて今回のプロジェクトの大事さを痛感しました。

大袈裟な考えかもしれませんが、せんが、施工の立場としてプロジェクトチームの一員として失敗は今後の芝生化事業に大きく左右される問題と考えていましたので余計に肩に力が入ってしました事を思い出します。

生育した状態の後に園児が素足で走り回れるようメンバーにて小石を十分拾うことも重要な作業でした。開園前に状態を確認した際、立派に成長してくれ「みどりの絨毯」になった時は本当に安心しました。

オープニングセレモニーには松田県議、造園協会の方、芝生の上で園児が組み体操を披露してくれた時はたくましさを感じ、素足で芝の上を走り、遊ぶそのいど、使える芝が少しでも多く増えることが大切な事だと思えます。



芝生の大切さとポット苗の育て方を説明

岸本会長も出席していただき、取材の方も訪れるほどの盛会でした。セレモニー時の園児の嬉しそうな笑顔はとても素敵に思えました。自分で頑張った事、可愛がって育てたからこそ余計に嬉しかったのではないかと思います。

今後園庭芝生化によって、たくさんの子供達が芝生に触れてくれることが大切な事だと思います。ほんの小さな物作りかもしれないですが、過程を知ること大切さがわかるのではないのでしょうか？

今後園庭芝生化が多く普及され、県土に良質なみどり、使える芝が少しでも多く増えることが大切な事だと思えます。

この講習会は、農業散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全確保の大切さについて発注側の行政と受注する造園関係事業所が共同認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で出席者には、「修

習会」が発行されます。希望者はFAXにて事務局に申し込み下さい(申込用紙あり)

病害虫防除講習会 開催のご案内
農業の適正使用と安全管理・人の健康や環境リスクに配慮した樹木の防除技術について

表彰コーナー
藍綬褒章 関水金作 (関水商事) 高橋克明 (株)植春造園
神奈川県 卓越技能者 荒川昭男 (庭工荒川) 優秀技能者 高橋更一 (小島造園) 渡部定男 (旬)植定
青年優秀技能者 持田智彦 (庭乃持田園) 松野隆博 (株)笹山植木
横浜市 技能功労者 前田湯孝 (前田農園) 池田馨 (旬)池田造園 小川芳夫 (旬)原造園 細野仁 (旬)細野植産 優秀技能者 実川吉雄 (株)早坂緑化 北村光清 (株)きたむら園 大胡隆典 (株)植周造園



芝の上で楽しそうに遊ぶ子供達



園児のポット苗植付け



芝生の上で組体操

●会員名簿の変更● (平成23年度名簿)

住所変更

○県央支部 中央道路(株) (会員名簿P.68) 〒243-0433 海老名市河原口2-29-2

代表者変更

○横浜中央支部 (株)植勘 (会員名簿P.47) 代表者 江原純夫 → 江原勲
○川崎南支部 タイシ造園(株) (会員名簿P.50) 代表者 齋藤三郎 → 関根忠和
○金沢・磯子支部 (株)金沢臨海サービス (会員名簿P.45) 代表者 青木利之 → 片岡良二

入会

○賛助会員 (有)松田興業 緑山ガーデンリサイクルセンター 代表者 松田和夫 〒215-0027 川崎市麻生区岡上1286-4 TEL044-981-3356 FAX044-981-3355 本社・稲城残土センター 〒206-0822 東京都稲城市坂浜2207-1 TEL042-331-9522 FAX042-331-9527
○やまびこ東部(株) 代表者 林智彦 〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 TEL0428-32-1091 FAX0428-32-1104

事務局情報

(月間行事一覧) ●諸会議その他●

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates like 12/1, 12/4, 12/8, 12/11, 12/15, 12/21, 1/7, 1/8, 1/12, 1/15, 1/19, 1/26, 1/30.

支部だより

湘南東支部 教育研修委員

三井 悠示

屋久島、縄文杉 見学研修

湘南東支部では毎年巨木見学会を行ってまいりました。

二十四年度は屋久杉を見に行く計画を立てました。

参加者は湘南東支部会員及び社員十三名、他支部より一名、お客が一名の計十五名でした。

四月十二日より三泊四日で羽田八時五分発、鹿児島九時五五分着、鹿児島十時四十分発の小型機で屋久島十一時十五分に到着しました。

現地はさわやかな初夏のような快晴にめぐまれ一日目はレンタカーに分乗し島を一周しました。

島は周囲132kmです。

屋久島はおよそ1550万年前に海底より隆起し全島が御影石でできています。

島の南側は切り立った崖が海からそそり立っています。

途中でガジュマルの大きな木が川のほとりにありました。

二株のくつついてしまったような株は幅が10m程で真ん中を車が通り屋敷門のようです。

千尋の滝は雨の後で大変な水量です。滝に向かって左側は100メートルもある御影石の一枚岩でできています。

2日目は朝4時半にホテルまでガイドが迎えに来てくれて5時に荒川登山口よりスタートして縄文杉に向かいました。

このトレッキングは往復十三時間程で距離は二十キロです。

健脚向きコースということですがゆつくりと行けば普通の人でも大丈夫のようです。

道はトロッコ道で枕木の上を延々と歩きます。

した。有毒植物なので屋久鹿も食べないでしょう。屋久鹿は小型で親になっても中型犬ぐらいで人と出会ってもすぐに逃げることもないです。

サクラツツジの薄いピンクの花が数輪をつけています。

リンゴツバキと呼ばれるやぶつばきの実が重たそうに垂れています。

実はピンポン玉ぐらいあり赤紫のきれいな大きい実ですが中の種は小さいとのこと、これも旨くないのか屋久猿もたべないとのこと。

それから、四十分程谷川ぞいのトロッコ道を進むと開けたところに出ました。

そのあたりは大正から昭和四十年ごろにかけて盛んに伐採がおこなわれた村の跡で600人程住んでいたようです。

小、中学校もありました。沢と反対の林の中に直径5m以上の苔むした杉の切り株が現れてきました。

屋久杉と呼ばれる木は樹齢1000年以上のもので、1000年未満のものは小杉とよばれています。

多くの杉は下から4mから5mのところまで切られその上に

何本も300年以上の木が立ちあがっていて中には三代杉と呼ばれるものもあります。

トロッコ道が終わるとかなり急な登りと急な下りの連続で石や根の上を歩いて1時間程でウイルソン株に到着します。

私は両手にストックを使い体のバランスをとることができて大変よかったです。

朝は曇りでしたが昼頃には雨となり昼食は傘をさして沢の脇でホテルで作ったもちもちした弁当を食べました。

雨の中でも寒くはなくこれが屋久島なのだと思える機会でした。

ガイドが屋久島の登山ほどの沢の水も飲めるので水筒を持たなくとも大丈夫と言っていました。

確かに水筒の水は飲まずに済みました。

巨木で感動したのは屋久杉だけでなくヒメシヤラの巨大さには驚きで、沢に向かっの斜面の照葉樹林の中に直径が60センチから80センチもの赤いきれいな幹肌はすばらしいものでした。

不思議と直径が20センチとか30センチの若木は見当たらず巨木ばかりが点在していました。

ウイルソン株から歩くこと2時間ほどやつのことで縄文杉に到着することができました。

その姿は他を圧倒する存在感で目の前に立ちあがっていました。

直径は5・22メートル、周囲は16・4メートル、樹高は25・3メートル、推定樹齢は、2170年から7200年までの諸説があるとのこと。

気が遠くなるほどの風雪に耐えここに存在していることを考えると、長くても100年の人間の一生がなんと小さなものかと思ひ知らされる次第でした。

三日目は白雲水峽を下レッキングしました。

上り始めてすぐそこは10m程のイスノキの林で、その下にはハイノキの林となっていて、花の時期には素晴らしいことと想像しました。

三日間の滞在は屋久島のほんの一部を垣間見たというだけで何度か来て見たくなる気持ちがよくわかりました。

同じ宿に泊まり長い山道を共に行動することで会員の親睦が大いに高められました。

そして次はどこの世界遺産に行こうかと話が盛り上がりました。

三支部合同 農業研修会 情報委員 前田 陽介

港北支部、神奈川支部、鶴見支部では、隣接する支部同士の交流を深めると共に、一支部では中々実現する事の出来ない規模の研修会を毎年行なう様努めています。

今年、港北支部、青木治副支部長に幹事を務めていただき、9月29日、JA横浜きた総合センターにおいて、講師にJA横浜 森昌一氏、来賓講師として、日本農業株式会社 淵田智一氏、シンジェンタ ジャパン株式会社 溝上康氏を迎え、農業研修会を行いました。

まずは、会場手配等、ご協力をいただきました。JA横浜 森昌一氏により、農業の適正使用について、また防除器具(動力噴霧器)の正しい洗浄方法などについて、詳しくご説明いただきました。

その後、「農業が出来るまでの流れ」「農業の安全性評価について」その他、「耐性菌の発生メカニズム」と対策について「クレームを少なくする農薬散布について」など、専門家お二人によるご指導をいただきました。

質疑応答の場も設けていただき、展着剤の適正使用方法や、新商品の説明など、より一層、私共が適正使用出来る様、ご指導いただきました。

充実した内容により、知識向上する事の出来た研修会は、港北支部 川田秀一支部長の挨拶により閉会しました。

懇親の場では、親睦を深めると共に、さまざまな環境変化に伴い、新しい農薬が開発される中、造園業者として常に新しい知識を持ち、適正使用に努めなければならぬと強く感じました。

また、共に協力し、さまざまな研修の場を設け、造園技術の向上と、日々変わる情報の習得が必要であると改めて認識する事が出来ました。



ガジュマルのトンネル



千尋の滝



ヒメシヤラの大木



縄文杉の前で



港北支部川田秀一支部長あいさつ



懇親会風景



向かって左より、淵田智一氏、溝上康氏、森昌一氏



研修会 (質疑応答)



鶴見支部青年部庭園見学会

鶴見支部青年部長 瀧川 佳広

鶴見支部青年部では、本年度より当協会鶴見支部に所属する、各事業所の従業員においても、任意により、青年部員とし、造園家として技術向上、知識向上に努める事としました。

その記念すべき第1回目として、都内の庭園見学会をおこないました。

9月30日、出席者22名にて六本木ヒルズの毛利庭園、清澄庭園、浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園を巡りました。

各庭園では、修景物の据え方や石組の技法などについて、当時の作庭家の心意を想像しながら学びました。

また、江戸の庭園で現在でも唯一、潮人(汐人)の方法を取り入れている浜離宮では、造園の勉強の為訪

れたという事で、専門知識の高いボランティアガイドさんを付けて頂きました。

庭園内を詳しく説明して頂き、雑談を含め、当時、池の水を確保する為の遣水の方法や、曲水との違いなどについて語り合い、共に勉強する事が出来ました。

実はこのガイドさん、都内の造園会社に勤めている方で、自らの勉強の為、休日はボランティアガイドとして活動しているそうです。

私共も志の高さに良い刺激を受ける事が出来ました。

庭園見学を終え、地元鶴見区内において、反省会を含み、懇親の場を設けました。

和やかな雰囲気の中で、池の水を確保する為の遣水を経て、私共の時代、造園の勉強をしていく上では、とても恵まれていると感じました。

当時、簡単に見る事出来ない庭園を見学出来る事や、写真、文章などによる多数の資料、これは諸先輩方の努力による結果だと感じました。

この事実には甘んじる事無く、私共もさらに勉強し、少しでも次世代へ継承出来る様、努力していくと結束を固める事が出来ました。

今回の見学会にご協力いただきました各事業所様、ありがとうございます。

青年部一同、造園業界繁栄の為、少しでも協力出来る様、努力して参りますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

第7回合同植木供養祭

千鳥造園工事(株) 遠藤 光哉

十月九日(火)午前九時半から、神奈川県造園業協会川崎南支部・川崎北支部・川崎市造園建設業協同組合の3団体合同により川崎大師平間寺境内で、第7回植木供養祭が行われました。

昭和五十一年十一月、当時の川崎支部では、緑と共に生きる造園業者として「植木供養之碑」を建立し、川崎大師平間寺境内にイチョウを献木しました。以来五年ごとに供養祭を行って来ています。

供養祭では、川崎大師平間寺貫首藤田隆乗僧正を導師に厳かにとり行われました。

導師は法話の中で、「日本では古くから、あらゆるものに魂が宿ると考え、大切に、感謝してきました。」など、お話をさ

く感じました。

この事実には甘んじる事無く、私共もさらに勉強し、少しでも次世代へ継承出来る様、努力していくと結束を固める事が出来ました。

今回の見学会にご協力いただきました各事業所様、ありがとうございます。

青年部一同、造園業界繁栄の為、少しでも協力出来る様、努力して参りますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。



水辺に咲くヒガンバナ 清澄庭園



青年部員とOB 清澄庭園



三百年の松 浜離宮



ボランティアガイドさんの説明を熱心に聞く部員たち 浜離宮

「日本では古くから、あらゆるものに魂が宿ると考え、大切に、感謝してきました。」など、お話をさ



植木供養



目代川崎市造園建設業協同組合理事長挨拶



講話

Bridal Banquet Stay Restaurant

ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地

お問合せ 045-641-1311

http://www.yokohamagarden.jp



YAMABIKO KIORITZ slinkuri 新着機種

やまびこの造園緑地機械

2日間限りのお買得品
掘り出しもの処分市
お楽しみゲームコーナー
お役立ちコーナー設置
ご来場記念 オリジナルジャンパー

日時 2013年1月18日(金)・19日(土)
場所 やまびこ本社院内(持設会場)
ご来場のご希望は、県下やまびこ製品取扱店までお問合せ下さい。

木くず・枝葉・根受入れ
残土受入 2t・3t・4t・7t
庭石処分(天然石のみ)

山砂・赤土・黒土・砕石販売・残土処理・重機レンタル

有限会社松田興業
緑山ガーデンリサイクルセンター
川崎市麻生区瑞上1286-4
電話 044-981-3356 FAX 044-981-3355

本社・稲城残土センター
東京都稲城市坂本2207-1
電話 042-331-9522 FAX 042-331-9527

お得意様限定! 良質残土も赤土好きなだけ プレゼン実施中!

地図等、詳しくはHPで
松田興業 検索
www.matsudakougyou.com